

## 平成29年度第3回農薬使用時安全性検討会 議事要旨

1. 日時：平成30年3月16日（金）13：55～15：10
2. 場所：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部 会議室
3. 出席：赤堀委員、櫻井委員（座長）、関田委員、田中委員（五十音順）  
（事務局）：独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部

アシベンゾラル S-メチル、フルキサメタミド、カプリン酸グリセリル及びグリセリクエン酸脂肪酸エステル農薬使用時安全性の検討を議題として開催された。その要旨は次のとおりである。

### 議題1 アシベンゾラル S-メチルについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙1の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

### 議題2 フルキサメタミドについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙2の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

### 議題3 カプリン酸グリセリルについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙3の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

### 議題4 グリセリクエン酸脂肪酸エステルについて

- （1）事務局より、本剤の毒性試験成績概要及び評価案について説明された。
- （2）当検討会で審議した結果、別紙4の使用上の注意事項を定めることが適切とされた。

### その他

#### （1）フルアジナムについて

事務局より、平成29年度に実施されたフルアジナムのかぶれに係るモニタリング調査結果について報告された。

#### （2）次回日程について

次回の農薬使用時安全性検討会は、平成30年7月中旬に独立行政法人農林水産消費安全技術センター農薬検査部会議室にて開催することが提案された。

(照会先) 農薬検査部毒性検査課 土井、高嶺、工藤  
電話：050-3797-1868

## ○アシベンゾラル S-メチル

(総合評価) 使用上の注意事項

アシベンゾラル S-メチル 50.0 %水和剤

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3) 使用の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。  
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- (6) 夏期高温時の使用をさけること。

## ○フルキサメタミド

(総合評価) 使用上の注意事項

フルキサメタミド 10.0 %乳剤

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。  
誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 原液は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。

## ○カプリン酸グリセリル

(総合評価) 使用上の注意事項

カプリン酸グリセリル 0.05 % 乳剤

- (1) 人に向かって噴射しないこと。
- (2) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- (1 2 項：子供の手の届かない場所に保管すること。)

## ○グリセリンクエン酸脂肪酸エステル

(総合評価) 使用上の注意事項

グリセリンクエン酸脂肪酸エステル 50.0 % 乳剤

- (1) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。  
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。